

活動報告

日 時：平成 31 年 3 月 23 日（土） 13:30～16:30

場 所：アスティとくしま 第 2 特別会議室

内 容：

講演 I 「行政職員としての理学療法士の活動と今後の展望」

講 師：福池 映二 氏（鳴門市役所健康福祉部長寿介護課嘱託職員・

小川病院リハビリテーション部部長）

講演 II 「介護予防としての健口体操」

講 師：尾崎 和美 氏（徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授）

講演 III 「いきいき百歳体操（徳島版）認知症予防導入編の紹介」

講 師：鶯 春夫 氏（公益社団法人 徳島県理学療法士会 会長）

参加者：46 名（理学療法士 26 名、その他 20 名）

平成 31 年 3 月 23 日（土）にアスティとくしま第 2 特別会議室にて、平成 30 年度徳島県地域医療介護総合確保基金事業費補助金の助成を受け、平成 30 年度介護予防全体応用研修会を開催しました。本会員の他に、市町村職員の方々や保健師、言語聴覚士、作業療法士などの多くの他職種の方々にもご参加いただくことができました。講演内容については、理学療法士の強みを活かした行政職としての地域活動について福池先生にご講演いただいた他、尾崎先生には健口体操を通じて、リハビリテーション専門職が口腔に対する意識を持つことの大切さや、那賀町における健口体操の効果検証についてご教示いただきました。また、当会の鶯会長より、いきいき百歳体操（徳島版）認知機能改善編のご紹介をしていただき、要介護等認定の第一位の原因である認知症に対し、理学療法士の得意分野である運動療法を通じて介入できる可能性をご教示いただきました。また新しい DVD を披露していただき、参加者の方々にご意見を聞かせていただく貴重な場となりました。

今回の研修会を通じて、地域にて活躍できるリーダー育成の一助になったのではないかと感じました。



報告者；徳元 義治（医療法人 橋本病院）